2022年 願い実現の年へ

日本共産党

「感染症対策の拡充を」「困っている人への支援を強めて」

新年、おめでとうございます。新型コロナ感染症が世界を席巻し、今年もたたかいが続きます。一日も早く収束させるため、みなさんと力を合わせます。

アベ・スガに続き、昨年10月に誕生した岸田内閣も、改憲や軍備拡大の姿勢を強めています。一方、国民の世論と運動が政治を前向きに動かす事例も。年末、子育て世帯の給付金では、自治体や政府を動かし、市内でも現金給付が実現しました。日本共産党は、政治を良くするために、国民と草の根でつながり、野党の共闘をさらに深化させ、夏の参議院選挙で巻き返しを図る決意です。



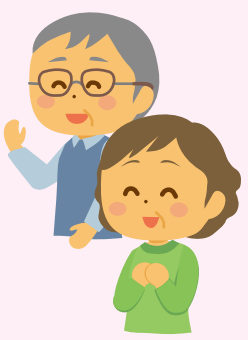
12月19日、おおたかの森駅前での宣伝に参加しました


12月14日、市長に対しワクチン３回目の接種等を要請しました

流山市は昨年人口20万人を突破。TX開通から16年で5万人が増えました。急激な人口増加に対し、保育園、学校、病院など市民生活の基盤づくりが追いついていません。また、児童虐待に関する相談は２０１９年度比で1・8倍化し、激増しています。安心して子どもを産み育てられるまちに、教育の環境を改善してほしい、老後をささえる介護サービスの拡充を…市内の隅々で湧き上がる声、願い実現に力を注ぎます。みなさんのご支援・ご協力をお願いします。

コロナ対策 日本共産党市議団の実績

2020年１月、県内初の新規感染者が確認されたのを受け、党市議団の市長要請は、20年２月～21年12月までに18回。この間、議会質問や提案にとどまらず、市内の医療機関との懇談や医療従事者の対市要請、感染病床の視察、県要請など全力を尽くしてきました。



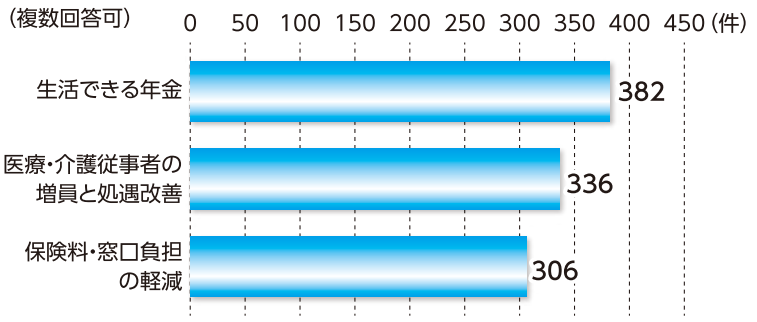
- 無料検査の実施
- コロナ患者受入れ病院への補助
- 医療等従事者への慰労金支給
- 市検査センターの立ち上げ
- コールセンターの通話料無料化
- 高齢者施設でのクラスター対策
- 飲食店テイクアウト支援
- 学童保育支援員への慰労金支給
- 超低温冷凍庫の設置拡大（１ヶ所→12ヶ所）
- 集団接種会場の拡大（東部地域限定２ヶ所→市内全域最大６ヶ所）

今後どんな感染症が出ても、必ず封じ込め、市民の命と健康を守り切る立場で全力をあげる決意です。特に、ワクチン３回目接種の前倒しに向けた体制強化、救急を含めた民間医療機関の充実、県立保健所の市内誘致、市保健センターの狭隘化解消とリニューアルが喫緊の課題です。ご一緒に力を合わせましょう。

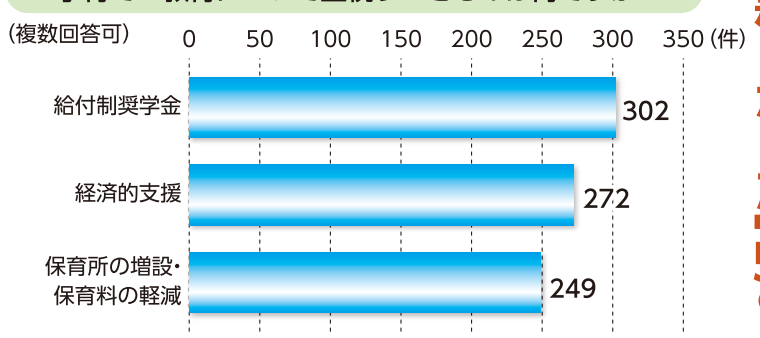
12月27日までに714通！ アンケートへのご協力ありがとうございます

暮し向きについて「悪くなった」52％

医療・介護・福祉 について重視すべきものは何ですか



子育て・教育について重視すべきものは何ですか



日本共産党流山市議団が取り組んでいる“暮らしのアンケート”に700通を超える意見や要望が寄せられています。まだの方は是非、ご協力をお願いいたします。インターネットでの回答も可能です。

流山市加4-1688　TEL／FAX 04（7157）6140　メールアドレス　giindan@nagareyama-jcp.jp
ホームページ　http://www.nagareyama-jcp.jp/　流山市議会事務局　平和台1−1−1　TEL 04（7150）6099

ご意見・ご要望をお寄せください

指定ごみ袋
納得していない 96%






いぬい紳一郎　小田桐たかし　植田和子　高橋あきら

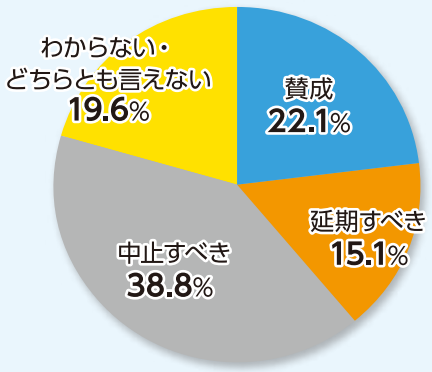
「高いごみ袋をなぜ買わなきゃならないの」「今でもしっかり分別している」

自治会の集まりやタウンミーティングでは、「納得いかない」「値段が高くてもったいない」「輸入品で良いの?」との声が出されています。それもそのはず…流山市民の「一人・一日当たりの排出家庭ごみ量」は、全国平均、千葉県平均よりも大幅に低くなっています。

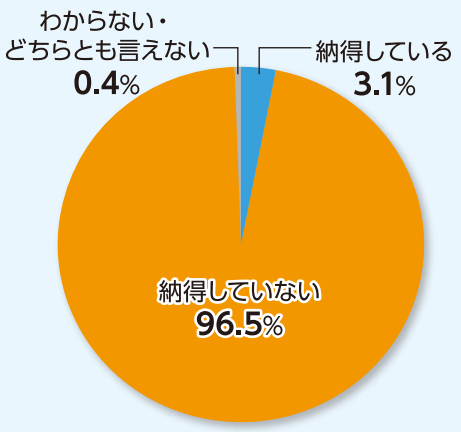
一方、指定袋の導入に伴い、12月議会に提案された補正予算には、「違反ごみ警告用ステッカー」の大量印刷などに132万円を計上。乳幼児や要介護者がいる世帯に対する指定袋一部支給、生ごみたい肥化補助等、新たな事務や業務も増加中です。

アンケート中間集計より

今年4月からの本格実施について



指定袋の導入について



広報で「非常事態」 クリーンセンターを緊急視察!

稼働から18年を迎えた焼却炉。22年度から4年間かけ大規模改修をスタートさせる計画でしたが、3炉のうち1炉は「想定外」の故障に。家庭の燃やすごみの一部を柏市で処理しています。

日本共産党市議団は、安全・安定な焼却炉の稼働を最優先するよう市長へ要請し、現地を緊急に視察しました。



12月23日、視察する党市議団

ジェンダー平等

日本共産党東京都委員会・ジェンダー平等委員会が実施した『痴漢被害のウェブ調査』では、初めて被害にあった年齢が18歳以下という回答が7割以上に。さらに「触られるうちが華」「その程度で騒ぐな」など軽視し、嘲笑されていることも判明しています。日本共産党の国会質問に、岸田首相も「痴漢は犯罪であり、決して許されるものではない。今年度、痴漢被害の実態調査を行う」と表明しています。

流山市議会では日本共産党市議団の質問に、「人権侵害」と回答する一方、男女共同参画を担当する部長は「女性の護身術を習う講座を実施」との答弁も…。痴漢は、女性が気をつけていれば無くなるものではありません。人権侵害にもつながる考え方は意識改革が必要です。

一方、市議会では昨年1年間だけでも、「男女共同参画社会の本格的実施を求める意見書」「『LGBT理解増進法案』早期制定等を求める意見書」「性暴力を受け妊娠してしまった場合の経口妊娠中絶薬の保険適用等を求める意見書」を可決し、ジェンダー平等の前進へ共同した取り組みを広げています。

白みりんミュージアム?



12月議会で「白みりんミュージアム」建設計画を市長が発表。市民も議員も寝耳に水の話です。「白みりん」をテーマとした体験型施設とし、流山キッコーマンの敷地内に2024年開館を予定。しかし委員会審査では、建設費や年間運営費、入場料の有無も不透明です。「昔、破綻した箱もの行政をマネしてどうするんですか?」「市立博物館でも企画展示をやっており、不要不急です」との声が聞かれています。

身近な要求実現



公園の古びて危険な鉄柵を撤去（三輪山一丁目）
いぬい紳一郎



授業時間確保へ 屋根設置（おおぐろの森小学校のプール）
小田桐たかし



生理用品の配布場所 複数箇所へ（社会福祉協議会）
植田和子



ぐりーんバス乗降場の改善（東部診療所前）
高橋あきら